

買物公園と位置づけ、イメージカラーを白亜に統一、街路樹との調和を図る。地元商店街により、ロックフェスティバル等各種イベントを開催し、在住外国人や若者を多く集め、「スポットアメリカ」的ムードをつくり出している。



沖縄市は昭和四九年四月、コザ市と中頭郡美里村が合併してできた市で、那覇市につぐ県第二の都市で、市域の約四割は、米軍基地が占めている。市の中央商店街はかつてベース・キヤンプ通りとして米軍やその家族等で賑わっていたが、復帰後は基地の整備



縮小、田高の影響、周辺商店街のファッション化等により急速に衰微していた。このような状況に対処するため、沖縄市基本計画の中で同地域を買物公園と位置づけ、買い物を楽しみ、語りうことのできる空間とすることを目標にショッピングモール化を行い、活性化を

## データボード⑨

- ① 沖縄県沖縄市中央
- ② 沖縄市役所 ☎09893-9-1313
- ③ 延長450m、幅員18m(車道3.5m、歩道14.5m)、店舗130
- ④ カラー舗装、ベンチ、アーケード
- ⑤ ワンステップ・ロックインパークアベニュー、民謡・歌謡ショー、ビール祭り

図った。実施にあたっては、コミュニティ道路の建設、アーケードや共同駐車場の設置、業種転換に伴う店舗改造などを行うとともに、買物公園のイメージカラーを白亜として街路樹の緑とのコントラストを狙った。また、カラー舗装や花壇、ベンチの設置、買物客の利便性を考慮した業種構成のゾーニングも行った。これらの整備により、今ではロックフェスティバル、郷土芸能やビール祭りなどの開催の場ともなっており、連日若者達で賑わいをみせ、国際性に富んだ活気溢れる街として沖縄市の顔となっている。